

## 被害応急調査結果

(平成22年1月～6月)

－ 3月下旬から4月中旬にかけての降霜等による被害見込金額は約104億円－

### 【調査結果の概要】

平成22年1月～6月に発生した主な農作物被害は、以下のとおりである。

#### 1 3月下旬の降霜による農作物被害

3月下旬の降霜による被害面積は2万6,900ha、被害見込金額は88億円となった。

#### 2 4月中旬の低温・積雪等による農作物被害

4月中旬の低温・積雪等による被害面積は2,720ha、被害見込金額は16億4,000万円となった。

表1 平成22年1月～6月に発生した主な農作物被害（総括表）

災害名	被害面積	被害量	被害見込金額
	ha	t	百万円
3月下旬の降霜	26 900	32 300	8 800
4月中旬の低温・積雪等	2 720	6 250	1 640

- 被害面積とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に収穫されると見込まれる収量から減収した面積をいう。
- 被害量とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に収穫されると見込まれる収量から減収した量をいう。

被害応急調査は、農作物に重大な被害が発生した場合に実施していますが、ここでは平成22年1月～6月に発生した災害のうち、農作物の被害見込金額の総額がおおむね10億円以上のものについて取りまとめ、災害種類別に掲載しています。

この統計調査結果で使用している統計表は、政府統計の総合窓口（e-Stat）の「統計データ新着情報」でご覧になれます。

【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

## 【関連するデータ、情報】

### ◎ 被害応急調査結果の利活用

- ・ 地方交付税のうち特別交付税を算定する際の資料
- ・ 天災融資法等の適用を判断する際の資料
- ・ 農業共済における損害を認定する際の資料

### ◎関連データ

#### 平成10年以降の主な降霜等による農作物被害概況

年次	被害発生の時期	被害面積 ha	被害見込額 億円	主な被害農作物	被害発生地域
平. 11	4月30日	7 240	15	果樹、茶	福島、関東・東山(茨城、千葉及び東京を除く。)、近畿(大阪及び和歌山を除く。)、中国(鳥取及び島根を除く。)、四国(高知を除く。)
13	4月下旬	18 700	50	果樹、工芸農作物、野菜、茶、ばれいしょ	東北、関東・東山(千葉、東京及び山梨を除く。)、北陸(福井を除く。)、三重、近畿(滋賀及び大阪を除く。)、山口、岡山
〃	9月21日～24日	15 600	12	雑穀・豆類、野菜	北海道、岩手、秋田、長野
14	6月25日～26日	11 000	12	雑穀・豆類、ばれいしょ、飼肥料作物	北海道(函館を除く。)
〃	12月9日～15日	2 780	11 (10)	果樹(みかん)	神奈川、静岡
20	5月11日～12日	2 660	13 (5)	果樹(りんご)	青森
21	4月中旬～下旬	4 120	16	果樹、茶	青森、岩手、福島、栃木、群馬、埼玉、東京、長野、静岡、愛媛
22	3月下旬	26 900	88	果樹、茶	神奈川、山梨、静岡、三重、奈良、和歌山、愛媛、高知、長崎、熊本、大分

資料：農林水産省統計部『農作物災害種類別被害統計』

注：被害見込金額の（ ）は果樹の品質低下に伴う損失見込金額であり、上段の被害見込金額には含まれない。

## 【調査結果】

### 1 3月下旬の降霜による農作物被害

3月下旬の降霜により、果樹では幼果の凍結や新芽の枯死、工芸農作物の茶で新芽の変色や枯死等の被害が発生し、被害面積は2万6,900ha、被害見込金額は88億円となった。

#### (1) 気象概要

3月下旬に、強い寒気が流れ込んだ影響で全国的に顕著な低温となり、降霜となった。

#### (2) 作物別被害

作物別の被害見込金額は、工芸農作物が44億9,000万円（被害総額の51%）と最も大きく、次いで果樹が39億4,000万円（同45%）となった。

（詳細は統計表P6～P7参照）

#### (3) 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、静岡県が44億3,000万円（被害総額の50%）と最も大きく、次いで和歌山県が20億1,000万円（同23%）となった。

（詳細は統計表P6～P7参照）

表2 3月下旬の降霜による農作物被害（全国）

区 分	被 害 面 積	被 害 量	被 害 見 込 金 額
	ha	t	百万円
総 数	26 900	32 300	8 800
麦 類	3 630	3 500	213
野 菜	1 020	1 480	150
果 樹	7 310	16 600	3 940
工 芸 農 作 物	14 900	10 700	4 490

## 2 4月中旬の低温・積雪等による農作物被害

4月中旬の低温・積雪等により、果樹等で受精不良による着果数の減少、枝折れ等の被害が発生し、被害面積は2,720ha、被害見込金額は16億4,000万円となった。

### (1) 気象概要

4月中旬の中頃に、非常に強い寒気が流れ込んだ影響により全国的に顕著な低温となった。また、17日には、関東甲信地方から東北地方南部にかけての広い範囲で降雪及び積雪を観測した。

### (2) 作物別被害

作物別の被害見込金額は、果樹が16億円（被害総額の98%）と最も大きく、次いで野菜が3,800万円（同2%）となった。

（詳細は統計表P6～P7参照）

### (3) 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、鳥取県が12億8,000万円と最も大きく、被害総額の78%を占める被害となった。

これは、主に日本なしにおいて開花期が極度の低温となったことにより、広範囲で受精不良による着果数の減少があったためである。

（詳細は統計表P6～P7参照）

表3 4月中旬の低温・積雪等による農作物被害（全国）

区 分	被 害 面 積	被 害 量	被 害 見 込 金 額
	ha	t	百万円
総 数	2 720	6 250	1 640
野 菜	124	155	38
果 樹	2 580	6 090	1 600
工 芸 農 作 物	13	4	2

## 【統計表】

### 統計表一覧

- 1 3月下旬の降霜による農作物被害（都道府県別）…………… 6
- 2 4月中旬の低温・積雪等による農作物被害（都道府県別）…………… 6

### 利用上の注意

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数	7けた以上 (1 000 000)	6けた (100 000)	5けた (10 000)	4けた (1 000)	3けた以下 (100)	
四捨五入するけた数（下から）	3けた	2けた		1けた	四捨五入しない	
例	四捨五入する前（原数）	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。  
「0」：単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）  
「-」：事実のないもの

【統計表】

1 3月下旬の降霜による農作物被害

全 国 都 道 府 県	総 数			麦 類			野 菜		
	被害面積	被害量	被害見込額	被害面積	被害量	被害見込額	被害面積	被害量	被害見込額
全 国 1	26 900	32 300	8 800	3 630	3 500	213	1 020	1 480	150
神 奈 川 2	206	866	173	-	-	-	-	-	-
山 梨 3	655	1 110	356	-	-	-	-	-	-
静 岡 4	14 500	10 600	4 430	-	-	-	40	43	6
三 重 5	175	642	127	-	-	-	-	-	-
奈 良 6	416	510	94	-	-	-	-	-	-
和 歌 山 7	4 130	8 930	2 010	-	-	-	2	6	4
愛 媛 8	717	596	138	50	18	1	85	22	4
高 知 9	303	161	51	-	-	-	-	-	-
長 崎 10	1 050	1 240	177	-	-	-	621	782	73
熊 本 11	4 540	7 180	1 130	3 580	3 470	212	275	620	63
大 分 12	167	424	110	-	-	-	-	-	-

2 4月中旬の低温・積雪等による農作物被害（都道府

全 国 都 道 府 県	総 数			野 菜			果 樹		
	被害面積	被害量	被害見込額	被害面積	被害量	被害見込額	被害面積	被害量	被害見込額
全 国 1	2 720	6 250	1 640	124	155	38	2 580	6 090	1 600
山 形 2	1	6	2	-	-	-	1	6	2
茨 城 3	11	76	20	-	-	-	11	76	20
栃 木 4	4	45	13	3	18	6	1	27	7
群 馬 5	1	16	10	0	0	0	1	16	10
埼 玉 6	33	129	45	-	-	-	33	129	45
千 葉 7	144	54	20	-	-	-	144	54	20
山 梨 8	1 280	524	250	56	130	27	1 210	390	221
長 野 9	65	7	5	65	7	5	-	-	-
鳥 取 10	1 170	5 390	1 280	-	-	-	1 170	5 390	1 280

(都道府県別)

単位 { 被害面積 : ha  
被害量 : t  
被害見込金額 : 百万円

果 樹			工 芸 農 作 物			全 国 都 道 府 県
被害面積	被害量	被害見込金額	被害面積	被害量	被害見込金額	
7 310	16 600	3 940	14 900	10 700	4 490	1
206	866	173	-	-	-	2
655	1 110	356	-	-	-	3
300	474	96	14 200	10 100	4 330	4
175	642	127	-	-	-	5
416	510	94	-	-	-	6
4 110	8 910	2 000	15	14	6	7
559	545	128	23	11	5	8
27	5	2	276	156	49	9
-	-	-	430	454	104	10
693	3 090	855	-	-	-	11
167	424	110	-	-	-	12

県別)

単位 { 被害面積 : ha  
被害量 : t  
被害見込金額 : 百万円

工 芸 農 作 物			全 国 都 道 府 県
被害面積	被害量	被害見込金額	
13	4	2	1
-	-	-	2
-	-	-	3
-	-	-	4
-	-	-	5
-	-	-	6
-	-	-	7
13	4	2	8
-	-	-	9
-	-	-	10

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の被害調査の中の被害応急調査として実施し、農作物に重大な被害が発生した場合に、天災融資法等の適用、共済保険金の概算払い、その他災害対策の企画・立案、実施等の資料を速やかに作成することを目的としている。

### 2 調査の対象

農作物に被害が発生又はその可能性があると思えられる区域内にある作物及びその栽培の用に供される土地とし、対象作物は全農作物である。

### 3 調査の実施

ほ場において栽培を開始してから収納されるまでの期間に、農作物に重大な被害が発生した場合に実施している。

### 4 調査方法

調査対象に対する職員の巡回・見積り等による。なお、甚大な被害、長期に及ぶ被害など特異な場合は、被害見積りの基準とするため、典型的な被害ほ場を被害応急調査筆として調査し、被害面積及び被害量を見積もることとしている。

### 5 目標精度

本調査は標本調査ではないため、目標精度は設定していない。

### 6 用語の解説

- (1) 被害面積とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に収穫されると見込まれる収量から減収した面積をいう。
- (2) 被害量とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に収穫されると見込まれる収量から減収した量をいう。
- (3) 被害見込金額とは、被害量に各農作物の単価を乗じて算出したものである。各農作物の単価については、都道府県ごとに以下のとおりである。

#### ア 水稻

生産農業所得統計の最近5年間の推計採用価格のうち、最高と最低を除く3か年平均に（財）全国米穀取引・価格形成センターにおける入札取引結果を基に算出した変動率を乗じて算出した。

#### イ 小麦、二条大麦、六条大麦及び裸麦

生産農業所得統計の最近5年間の推計採用価格のうち、最高と最低を除く3か年平均に（社）全国米麦改良協会における入札取引結果を基に算出した変動率を乗じて算出した。

## ウ 大豆

生産農業所得統計の最近5年間の推計採用価格のうち、最高と最低を除く3か年平均に（財）日本特産農産物協会における入札取引結果を基に算出した変動率を乗じて算出した。

## エ 葉たばこ

生産農業所得統計の最近5年間の推計採用価格のうち、最高と最低を除く3か年平均に直近年行政価格等の変動率を乗じて算出した。

## オ 上記以外の農作物

生産農業所得統計の最近5年間の推計採用価格のうち、最高と最低を除く3か年平均で算出した。

## 7 その他

この資料に係る詳細データは、平成23年3月刊行予定の「平成22年農作物災害種類別被害統計」に掲載する。

### 【ホームページ掲載案内】

○ この統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報に掲載しています。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

分野別分類は「作付面積・生産量、家畜の頭数など」に分類しています。

### 問い合わせ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 解析班

電話：03（3502）5670

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画課 広報普及班

電話：03（6744）2037